

TPiCSレポート

毎度お引き立てを頂きありがとうございます。

当社では、この度よりTPiCSユーザーの方々にTPiCSについての各種情報を「TPiCSニュース」としてお送りし、より有効にご使用頂けるよう努めたいと思います。

当面、不定期ではありますが、

- ・TPiCSの運用面でのテクニック
- ・生産管理についての新しい情報
- ・コンピュータの利用技術
- ・導入事例

などの情報を提供して行きたいと思えます。

ユーザーの皆様にも少しでもお役に立てればと思っております。今後ともよろしく願ひ致します。

1. マニュアルの正規印刷版が完成致しました。
従来お渡ししていた「ユーザーズマニュアル」に加え、「実践編マニュアル」と称するオペレーションや使い方を中心にしたマニュアルを作成致しました。

2. ナレーション解説テープが完成致しました。
46分カセットテープによるTPiCSの解説テープです。
「実践編マニュアル」と対になる内容ですが、初めてTPiCSに触れる方を対象に、約40分間でTPiCSの概要を掴んで頂けるように編集したテープです。

3. TPiCSの機能を強化しました。
次の機能強化を行い、正式名称も「TPiCS-II」に変更致しました。

●通信機能を装備致しました。

関連会社・関連部門と、納入指示書データなどの計画データを電話回線を使用して、簡単に送受信することができるようになりました。

ASCII形式のデータを読み込みますので、ホストコンピュータでデータを作成することも簡単です。

●進捗管理の機能を付加致しました。

新しく、型式別の進捗を表示する画面及びリストを付加致しました。

●「計画データの受渡」で、対象部門の指定を社内の生産部門の指定ではなく、仕入先メーカー名で指定するように変更しました。

●「取引先元帳」で表示対象を締日でコントロールできるようにしました。

これにより、例えば25日締めメーカーの元帳だけを印刷することができるようになりました。

●処理のステータス管理を強化致しました。

今回手配データの更新や、注文書発行処理の順番など、処理するのにある程度処理順序が決められているものの順序の管理を強化しました。

これにより、順序管理をしなければならない処理はTPiCS自身が全て管理しますので、ユーザーの方の「うっかりミス」を防ぐことができます。

4. 適用機種を増やしました。

NEC PC98シリーズに加え、富士通16βでも稼働するように致しました。